妖怪神社姫（ジンジャヒメ）を考えてみよう

文政２年（1819年）４月18日、肥前国（現・長崎県および佐賀県）のある浜辺に、全長２丈（約６メートル）の、２本角と人の顔を持つ魚のようなものが現れました。それは目撃した者に向かい「我は龍宮よりの使者・神社姫である。向こう７年は豊作だが、その後にコロリという病（コレラのこと）が流行る。しかし我の写し絵を見ればその難を逃れることができ、さらに長寿を得るだろう」と語った、という伝承があるそうです。コロナにも効くかもね！

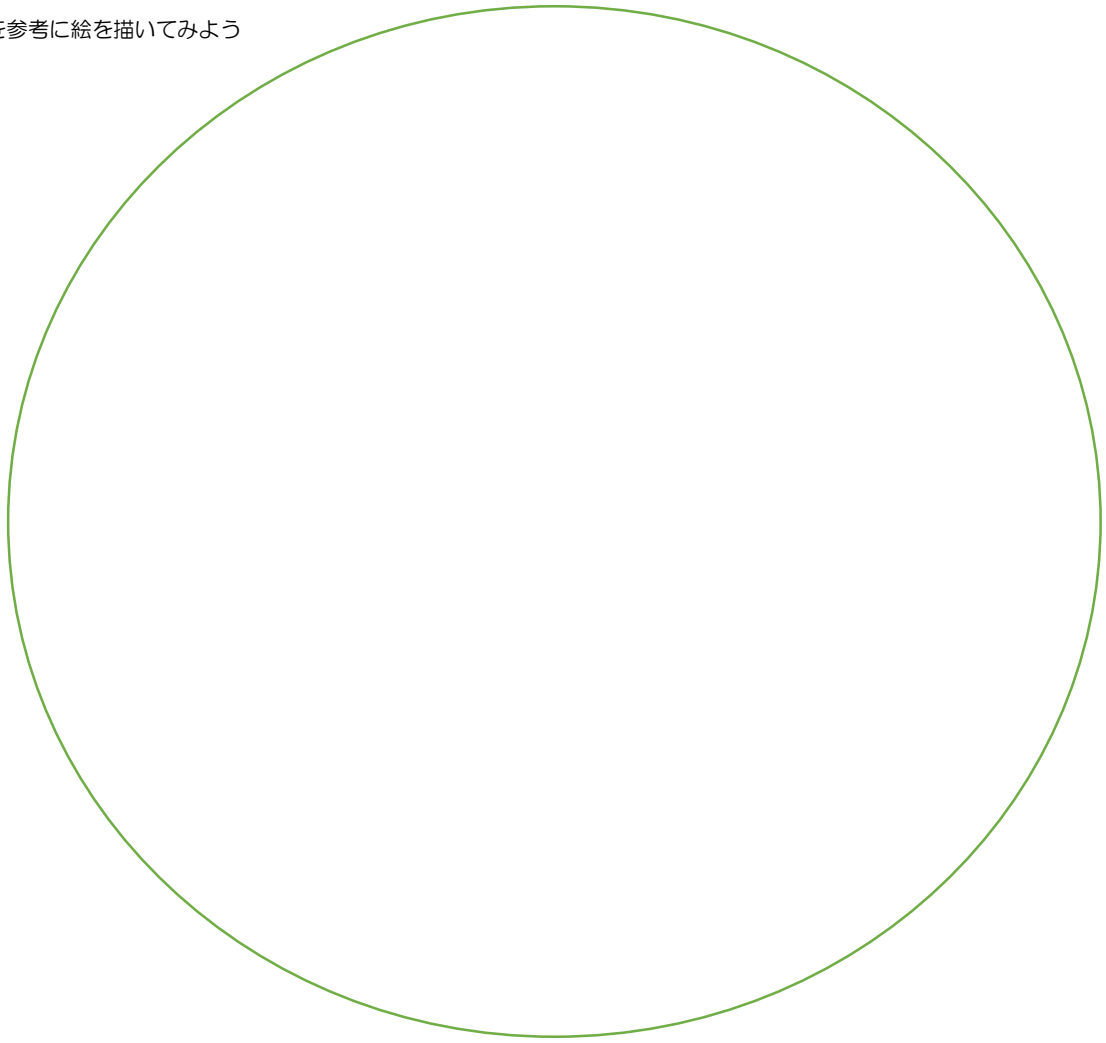
■神社姫の特徴と言われるもの

・人魚のような姿

・頭部に２本角

・長髪の人に似た顔（美しい女の顔）

・細長い胴体（龍の身体）

・三股の尾びれ（三本の剣）を持つ

■特徴を参考に絵を描いてみよう